



ゴロスケ報々



森の絵本づくりの会
「ごちそうがいっぱい」
より

●鳥のくらし発見隊 ●

定例行事のお知らせ

森の中を歩いていたり、街中を歩いていたりして、鳥の声や姿を見たことがありますか。「何ていう鳥かな」なんて思ったことはありませんか。そんな疑問をもったかた、ぜひ「みんなでバードウォッチング」にご参加ください。初心者グループでは双眼鏡の使い方、身近な鳥の見分け方、四季の鳥たちの暮らしぶりなど、基本的な事柄を中心に解説しており、バードウォッチング入門としての役割を果たしています。

鳥のくらし発見隊主催の「みんなでバードウォッチング」は毎月第2日曜日の9:00からです。その他に、2月の下旬に（今年度は2月25日を予定）初心者を対象にした「初めてのバードウォッチング」（申し込み制）も開催しています。双眼鏡、図鑑の貸し出しもおこなっていますので、ご利用ください。

今年で18年目をむかえた鳥のくらし発見隊ですが、スタッフも当初は数名でしたが、現在は20名を超えました。参加者も年々増加しています。初心者の方も毎回10名ほど参加、楽しんでいただいています。

友の会の会員の方も、一度参加してみたいかがでしょうか。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●5月定例会報告●

日時 2017年5月21日(日) 9:00~10:30

出席者 青木、大浦、落合(司会)、関根(書記)、高橋、谷垣、中里、西山、半田、三村、村松、山口、山路、吉田、渡部、掛下R、尾崎R

議題

- 1 友の会の3月中旬から5月中旬の行事報告、プロジェクト報告をしました。いずれも年間計画通りの行事を実施しました。
- 2 8月上旬までの友の会行事予定を確認しました。
- 3 ごろすけ館利用予定を確認しました。
- 4 事務局より
 - ・「秋まつり」の内容について、検討しました。
名称を「横浜自然観察の森友の会 まるごと体験」と改めました。各PJは、実施する内容について検討願います。
 - ・6月25日の前期利用推進会議で、友の会として、みずきの谷の池のかいぼりを要望します。
 - ・今年度のPJの名簿を作成します。
- 5 新メンバーの紹介
ZFC、畑、鳥くらに1名ずつ新しいメンバーが加わりました。
- 6 センターより
 - ・大規模緑地保全地域で、搜索・救助訓練が実施されます。(6月13, 15, 16, 20日)
 - ・市役所の担当職員が、一部変更になりました。
 - ・ボランティアのお願い

<次回の定例会>
7月16日(日) 9:00~
センター研修室

定例会は会員どなたでも出席できます。

●5月理事会報告●

日時 2017年5月21日(日) 11:00~12:00

出席者 青木、大浦、落合、志益、関根、谷垣、中里、西山、村松、山口、吉田、掛下R、尾崎R
(欠席：秋元、漆原、中塚)

1 役員・担当理事互選(総会時に報告済)

会長・編集	山口
副会長	大浦、落合
事務局長	中里
会計	青木
会員交流行事	吉田(新任)
会員名簿管理	漆原
ネットワーク	秋元
書記・ホームページ	関根
安全管理	中塚

2 年間スケジュール

理事会：7/16・9/17 30周年準備
11/19 中間報告・次年度方針
1/21 次年度事業計画
3/18 総会準備他

3 長期目標&30周年準備

- ①課題整理：本日、定例会でアンケートとワークショップについて説明済、ヒアリング実施
 - ②イベント：たたら製鉄準備状況報告、その他の内容検討
 - ③記録誌：紙面の方針確認(活動紹介+記録)
 - ④グッズ：複数アイデアあり。
 - ・各項目について実行委員会(部会)で検討することになりました。
- 《理事以外でもお手伝いいただける方は各部会へアイデア等をお寄せください!》
《助成金情報ありましたら会計担当へお寄せください。》

4 利用推進会議(6/25)

- ・予定議題：年度報告、その他確認事項(ミズキの池かいぼりについて)
- (同日、保安全管理懇談会)

5 安全管理

- ・安全管理講習(6/3)参加呼びかけ、事故等報告なし。

6 その他

- ・センターの中長期計画が市から了承、利用推進会議で配布予定。

<次回理事会>

日時 7月16日(日) 11:00~12:30
場所 自然観察センター研修室
議題 30周年準備(イベント・記録誌・グッズの各部会開催、報告)
※理事以外でも各部会にご協力いただける方は是非ご参加ください。

2100年

ヒット曲「西暦2525年」(“In The Year 2525” Zager and Evans)にはまだまだ遠いが、2100年について考えてみたい。

21世紀最後の年。現在小学校1年生なら、生存している可能性が高い(博報堂生活総研2100年の平均寿命。男性89歳、女性95.7歳)ので、他人事ではない。

1986年横浜自然観察の森が自然保護教育推進目的で設置された当時の横浜市人口は3百万人で、自然破壊が更に進むだろうと想定され、実際に森を守る目的もあった。現在、当時以上にみどり豊かになり、多くの来園者がみどりに接して喜んでいる。

しかし、私が10年間ZFCで活動して感じるのは、そのみどりの力に圧倒されていることだ。そして、私の住んでいる隣接する庄戸地区では、高齢住民にとって庭の草木さえが脅威となり、それに抗しきれず転出を選択する方も少なくない。現在の庄戸の世帯当たり居住者数は2.18人(横浜市2.23人。栄区2.37人)、高齢化率51.4%(平均年齢は56.6歳)となり、すれ違う二人に一人は65歳以上だ(2016年3月)。

さて、2100年、今から83年後である。日本の人口は50百万人(5千万人)を切り(国立社会保障・人口問題研究所)、横浜市も2百万人を下回り1960年代後半頃の状況になる(当時の庄戸周辺は農地と山だった)。高齢社会で高齢者も働かざるを得なくなり、様々な点で効率性の高い駅周辺部に人口が集中することは止まらないだろう(自動運転車も結局社会インフラになるので効率性が求められる)。この状況は庄戸に限らず1970年以降に開発された駅から離れたエリアは同じような立場だ。2100年はより高度に居住可能となるので、人口増加時に宅地化したエリアに住む必然性は失われる。

一度居住者数が減り始めると、その速さは加速度的に進み、一挙に過疎化し限界集落となる。増えた空き家は放っておけば自然に打ち負かされる。その自然は地球温暖化により、かつてのような穏やかなものではない(気象においては既に現実)。例えば竹の猛威だ。経済的価値が低い竹林拡大防止は優先が高い。増加する空き地を整理し、農地化(工場制農地)や生産林化する等も視野に入れなければなるまい。一度人の手の入ったみどりは、適切な人の関与がされなければ健全性を確保できないので、長い視点での方針を考える必要がある。

83年、樹の寿命からすれば決して長い時間ではないので、今の子供たち・その子供たち・その子供たち・その子供たちのためにも、注意深くみどりと関わっていく心構えを持てる人を増やすために、観察の森に関わるボランティアが一人でも増やせるように日々の活動の中で心がけなければ思う。

西暦2525年では間に合わない。

In the year 2525,
If man is still alive
If woman can survive,
they may find

ZFC 関根和彦

●森を守るボランティア体験(4月) 報告●

4月16日(日) 参加者1名 スタッフ3名
担当：自然と遊ぼう
体験テーマ：オタマジャクシ観察の企画を練習

参加者1名はすでに入会しZFCのメンバーでした。
いつものように森と友の会の紹介、説明の後、フィールドに出て何時もの活動の様子などを話しながら歩きました。
昼食後、ゴロ報の発送にも参加されました。

友の会活動報告

●トンボ池を掘ろう●

5月7日(日)
参加者： スタッフ5名 会員参加者4名

昨年池が満水で中止した堀上げですが、今年はカエル調査4名の強力な支援を得て実施できました。二つの池を堀上げ、一カ所の泥の中でリスアカネのヤゴが遅く多数棲息しているのを確認できましたし、ヤマアカガエルのオタマジャクシを救援できる水場を確保するなど、成果のあった作業でした。参加の皆さんお疲れ様でした。

カワセミファンクラブ 大浦

●森の作業体験 報告●

炭焼き体験
5月20日(土) 9:00~14:00
参加者 4家族(14名) 大人7名 小学生6名 幼児1名
スタッフ 7名

大窯とドラム缶窯炭焼き体験会を実施しました。4家族を2グループに分けて、スタッフよりそれぞれの窯の構造や特徴などを説明しました。小学生には薪をくべたり、温度を測定してデータに書き入れる作業をしてもらいました。その間「炭ができるまで」の紙芝居を実施しました。午後はコースター作りや火おこしなどを行いました。アンケートから満足したという感想をいただきました。

担当：雑木林ファンクラブ

★保全管理フォローアップの会★ 報告

・第1回 5月13日(土) 13時~15時

○参加者 友の会 9名(篠原由紀子さん、佐々木美雪さん、渡部克哉さん、落合道夫さん、藤原功さん、谷垣勝彦さん、小島正彦さん、関根和彦さん、村松古明さん) レンジャー2名(掛下尚一郎、黒川麻紀野)
○内容 桜林Ⅰ区北、Ⅲ区に設置した5m四方の調査区の草本層の調査予定していましたが大雨のため中止し、昨年伐採したⅣ区のシラカシの実生採りを行いました。また作業後には調査区内で目立つ草本を採集し植物の同定の勉強会をおこないました。

植生調査は後日、野草の調査と保護の皆さんに活動内でおこなっていただきました。

・次回 7月1日(土) 13時~15時

○内容：桜林の伐採跡の植生の観察・記録とピクニック広場の観察 集合：研修室
雑木林管理ゾーン(主に桜林)のモニタリングと、4月から再オープンしたピクニック広場の様子を観察します。調査と簡単な作業も予定しているので活動的な服装でおいでください。帽子、飲み物をお忘れなく。◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下か黒川までご連絡ください。

★今年度9月以降のフォローアップの会の予定

- 9月3日(土) 勉強会「桜林・ピクニック広場のバッタ類(仮)」(講師：槐真史さん)
- 11月3日(祝・金) ピクニック広場検討WS、冬季の伐採計画の確認
- 1月20日(土) 勉強会「30年のモニタリングデータに見る冬鳥(仮)」(講師：藤田剛さん)
- 3月3日(土) 年間のふりかえり

★保全管理懇談会(前期)6月25日(日) 15時~17時 研修室にて

園内の環境管理について、横浜市の担当者と年に2回、情報共有・意見交換を行っています。今回は今年度、横浜市とレンジャーの行う環境管理作業(草刈や伐採など)や補修工事の計画についてご説明し、意見交換を行います。園内の環境管理に関心をお持ちの方なら、どなたでもお越しください。

◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下か黒川までご連絡ください。

【開催中】観察センター企画展「鳥のひとりだち~初めての夏・秋・冬」

前期企画展「鳥のひとりだち~初めての夏・秋・冬~」が10月末まで開催中です。今、森の中はこの春に巣立った幼鳥でいっぱい。この森はどんな鳥たちの子育ての場になっているのでしょうか?巣立った子どもたちは初めて見る森の世界をどのように生きていくのでしょうか。地面でひな鳥と出会っても、拾ってはいけない理由もわかります。

あわせて、今季のホタル出現情報をお知らせする展示も始まっています。今年はサクラや

ミズキが遅めに咲いたり、なかなかトンボの仲間が姿をあらわさなかったり、季節の進みがのんびりでしたが、ホタルはどうでしょうか??



【報告】ゴールデンウィーク 森のクイズラリーは参加者 1000 名突破

ゴールデンウィークにあたる 4 月 29 日～5 月 7 日のうち 8 日間、「森のクイズラリー」を開催しました。期間を通してお天気にめぐまれ、近隣から大勢の家族連れを迎えました。クイズを解きながら 1 時間ほど散策するものでしたが、湿地で 20 分も 30 分もオタマジャクシに夢中になっていたり、途中でお昼ご飯を広げたり、と、ゆっくりのんびり森で過ごしている方が目立ちました。のべ 28 名ものボランティアのみなさんに協力していただき、スタート&ゴール、湿地やミズキの谷での解説をサポートしていただきました。見込みを大きく上回る 1047 名の参加者に楽しんでいただけたのは、ボランティアのみなさんがいてこそでした！ありがとうございました。



イベントサポーター大募集！

いきものを知る守るシリーズ～水辺のいきもの調査隊～

水の中に暮らすいきものを調べ、守るための方法を考えるイベントです。各回 2 名程度のサポーターを募集しています。参加者の受付、誘導、観察補助などをお願いします。1 回のみでの参加でも可能です。水生生物のことをぜひ一緒に学びつつご協力をお願いします。

日時：7/23（日）7/30（日）10 時～15 時 ※両日同内容

雨天時 それぞれ 7/29（土）、8/5（土）に延期

イベント対象：小学生とその保護者 40 名まで

サポーターの集合解散：9 時集合 15 時半ころ解散

持ち物：飲み物 昼食 帽子 タオル 野外活動の服装 ※暑さ対策しっかり！

<レンジャー尾崎までご連絡ください！E-mail：ozaki.r@wbsj.org>



ボランティアさん

** 3/31～5/31

ありがとう

4/9 鳥のくらし発見隊のみなさん [NHK ラジオ「音の風景」取材協力]

4/15 雑木林ファンクラブ 武田正人さん、片岡章さん

[園路のぬかるみ対策用のベニヤ板切断の作業]

4/29～5/7 中里幹久さん、上原明子さん、水上重人さん、武田正人さん、武田冬馬さん

小泉恵敬さん、石川裕一さん、新倉房子さん、西山健太郎さん、秋元万葉さん

矢島静さん、和田全弘さん

[森のクイズラリー運営への協力]

5/25 カワセミファンクラブ 大浦晴壽さん [展示用写真の提供]

5/28 鳥のくらし発見隊 中里幹久さん、水上重人さん、矢島静さん

今村修さん、岩崎由春さん [親子でバードウォッチングのサポート]

行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/

行事スケジュール 6月～8月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●自然観察センター主催行事●

■【ゲンちゃん・ハイちゃんの紙芝居劇場】

日時：6/24(土) 19:00～20:00

申込：申し込み不要 どなたでも参加可

(小学生以下は保護者同伴)

■【いきものを知る守るシリーズ

～水辺のいきもの調査隊～

水の中に暮らすいきものを調べ、守るための方法を考えます。

日時：7/23(日)・7/30(日)

10:00～15:00 ※両日同内容

雨天時 それぞれ7/29(土)、8/5(土)

へ延期

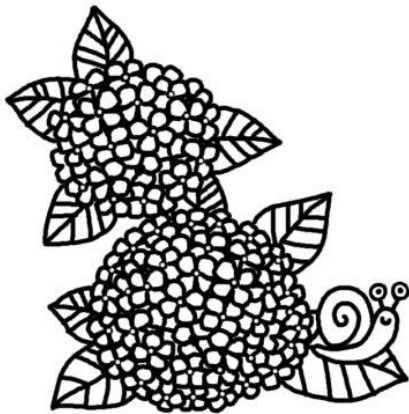
対象：小学生とその保護者40名まで

申込：E-mail、往復はがき、FAXで

締切日7/14(金)(必着)までに要申込。

詳細はHP参照。

※自然観察センターの連絡先は7ページ参照



●共催 定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の活動内容紹介とルールを～

8/20(日) 9:30～14:00 雨天催行

受付：直接、自然観察センターの研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

7/2(日)・8/6(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●定点カメラで動物調査

7/8(土)、8/12(土)

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け

持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参

集合：ゴロスケ館集合

活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

7/9(日)・8/13(日)

9:00～13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

7/19(水) ※8月お休み

10:30～12:00 絵本製作

受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

7/15(土) ※8月お休み

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

7/22(土)・8/26(土)

1回目 13:00～ 2回目 14:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2017年6月18日
発行 横浜自然観察の森友の会
F A X 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com